

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年10月16日(2014.10.16)

【公開番号】特開2012-108476(P2012-108476A)

【公開日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2012-022

【出願番号】特願2011-190375(P2011-190375)

【国際特許分類】

G 02 B 21/36 (2006.01)

【F I】

G 02 B 21/36

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月1日(2014.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検物を結像する結像光学系と、

前記結像光学系を介して前記被検物を撮像する複数の撮像部と、を備え、

前記複数の撮像部のそれぞれは、撮像素子と、該撮像素子を移動する移動機構と、を含むことを特徴とする顕微鏡。

【請求項2】

前記移動機構は、前記撮像素子の撮像面が前記被検物の像の合焦点に近づくように、該撮像素子を移動することを特徴とする請求項1に記載の顕微鏡。

【請求項3】

前記移動機構は、前記被検物の表面形状に応じて前記撮像素子を移動することを特徴とする請求項1又は2に記載の顕微鏡。

【請求項4】

前記被検物を保持し移動するステージを備え、前記移動機構は、前記結像光学系の光軸に垂直な方向への前記ステージの移動に応じて前記撮像素子を移動することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の顕微鏡。

【請求項5】

前記複数の撮像部を移動する移動部を有することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の顕微鏡。

【請求項6】

前記移動部は、前記被検物の像の合焦点の傾きに応じて前記複数の撮像部を移動することを特徴とする請求項5に記載の顕微鏡。

【請求項7】

前記被検物を保持し移動するステージを備え、該ステージは、前記被検物の像の合焦点の傾きに応じて、前記被検物を移動することを特徴とする請求項1乃至6のいずれか1項に記載の顕微鏡。

【請求項8】

複数の前記撮像素子は、前記被検物における異なる複数の部分を撮像するように構成されていることを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載の顕微鏡。

【請求項9】

請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の顕微鏡と、前記被検物の表面形状を計測する計測装置と、を備えることを特徴とする画像取得装置。

【請求項 10】

前記移動機構は、前記計測装置により計測された前記表面形状に応じて前記撮像素子を移動することを特徴とする請求項 9 に記載の画像取得装置。

【請求項 11】

前記計測装置は、前記被検物において試料が存在する存在領域を計測し、前記顕微鏡は、前記計測装置により計測された前記表面形状及び前記存在領域に応じて、該存在領域を撮像する前記撮像素子を移動することを特徴とする請求項 9 又は 10 に記載の画像取得装置。

【請求項 12】

請求項 9 乃至 11 のいずれか 1 項に記載の画像取得装置と、前記画像取得装置で取得された前記被検物の画像を表示する表示装置と、を備えることを特徴とする画像取得システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の一側面としての顕微鏡は、被検物を結像する結像光学系と、前記結像光学系を介して前記被検物を撮像する複数の撮像部と、を備え、前記複数の撮像部のそれぞれは、撮像素子と、該撮像素子を移動する移動機構と、を含むことを特徴とする。

本発明のその他の側面については、以下で説明する実施の形態で明らかにする。